



アップする頃には、年度が変わっていますが、まずは、3月に行った授業の紹介です。

## 高2 地学基礎 日本の災害

地学基礎のまとめとして、日本の災害史を2人1組のグループで発表しました。

「関東大震災」「三陸沖地震」「室戸台風」「枕崎台風」「阿蘇山噴火」「伊勢湾台風」「長崎水害」「雲仙普賢岳」「北海道南西沖地震」「阪神淡路大震災」「三宅島噴火」「有珠山噴火」「鳥取県西部地震」「東日本大震災」「九州北部豪雨」「御嶽山噴火」「熊本地震」「西日本豪雨」「台風21号大阪」の19の災害の中で、自分で選んだ災害について調べました。



日時・災害の概要、特徴・被害状況・災害メカニズム・対策について、まとめました



※これだけの災害について、一人で調べて発表物を作ると、4時間ではとてもできません。

19もの災害をたった2時間の発表の中で知ることができるのです。

ただし、2時間で自分のものにするには他のグループの発表を→聞く姿勢がとても大切です！

3月12日に、平成30年度最後の公開研究授業がありました。  
数学・保健体育・総合探究・課題研究の4つの授業を公開しました。  
図書館は、総合探究、課題研究、数学の3つの授業の支援をしました。



その中の2つの授業について、紹介します。

まず、総合探究・ヘルスサイエンスの授業です。

ヘルスサイエンスは、グループで1冊ずつ、がんについてのパンフレットを作りました。そして、そのパンフレットをもとに、発表会をします。

研究授業では、発表に向けて、よりよい発表の仕方を、グループで協議し、練習を行いました。

紹介するのは、その発表の仕方を学んだ次の時間！発表の様子です。

## 高2 総合探究 ヘルスサイエンス～がんについて考える～

きちんと発表の心構えを学んだことが、生きていました。発表前の最後の打ち合わせも、さっとグループに分かれ、集中して打ち合わせていました。

パンフレットを書画カメラで写しての発表です。とても、熱心に取り組んでいました。



発表がきちんとしていると、「聞く」方の態度も立派！！



次は、数学です。

## 高1 数学「和算についての考察をグループで発表しよう」

「塵劫記」の入れ子算、ねずみ算、衣盗人算を3つのグループがそれぞれについて解答を求め、他のグループに説明します。古語を読み取り現代語にする力は、国語の時間に連動して学習しました。そして、塵劫記の3つの問いに答えを出すのですが、未知数を使わずに解を出すのに、悪戦苦闘！「こうじゃないか」「ああじゃないか」……頭を寄せ合い、楽しそうに話し合っていました。そして、KP法(紙芝居プレゼンテーション)で説明します。

授業者側の準備について反省点も明らかになりましたが、おもしろい授業でした。



全体研修会には、帝京大学大学院教職研究科の鎌田和宏教授に「これからの高校教育と探究的な学習～読書・学校図書館を活用して」と題して、ご講演いただきました。

「教科書が読めない(読解力がない)生徒が増えている。学校をあげて、楽しむための読書・知識を得るための読書・情報を得るための読書・生き方をつくる読書を勧めなければならない」—

肝に銘じます。そして、そんな読書を支え、学校教育を本当の意味で下支えできる魅力的な図書館作りをしていきたいと思いました。



## 高1 英語「世界の国を紹介しよう」



自分たちで選んだ国、ニュージーランド、イタリア、サウジアラビア、スペイン、アメリカ、フランスの文化を英語で紹介します。

1時間目・・・それぞれ、自分が受け持った本の中から、必要な情報を付箋に書く  
それをグループで共有する

2時間目・・・発表する内容を決め、レイアウトを相談  
発表物を作る

3時間目・・・発表物を作る。できたところから、発表  
の原稿を作る。(モチロン英語！！)

4時間目・・・発表



留学生がグループに！（ラッキー！！）



## 高1 国語「キャッチコピーを作ろう」

国語の特設授業で、『伝え方が9割』（佐々木圭一、ダイヤモンド社）を使い、人の心をつかむ伝え方を学び、キャッチコピーを作りました。それぞれが気に入った絵本に、キャッチコピーをつけ、本の帯を作りました。最後の授業では、良いと思った本の帯に、理由を書いた付箋を貼りました。

ステキな帯がいっぱいできました。  
友だちの絵本作家さんに、見せます。きっと、  
喜ぶと思います。  
「こっちの帯の方がいいなあ・・・」と。



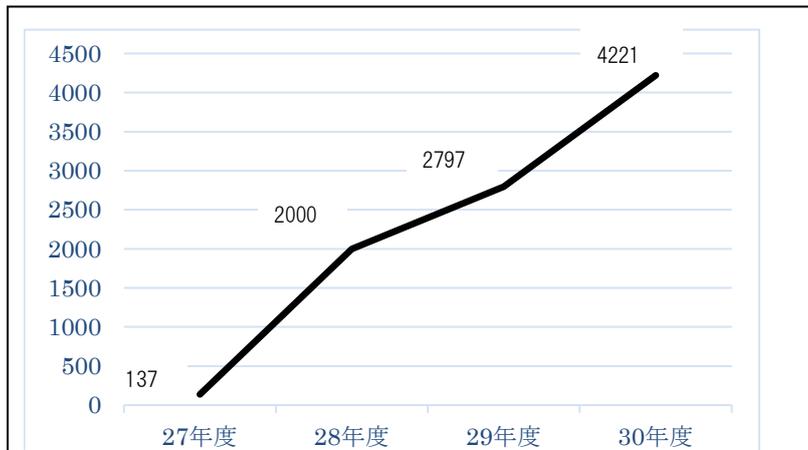
# 平成30年度 開星中学・高等学校図書館報告

## ○基礎データ

・蔵書冊数：		・開館日	209日
昨年度末	10,028冊		
今年度購入図書数	821冊		
寄贈図書数	143冊		
廃棄図書数	0冊		
<hr/>			
平成30年度末蔵書数	10,992冊		

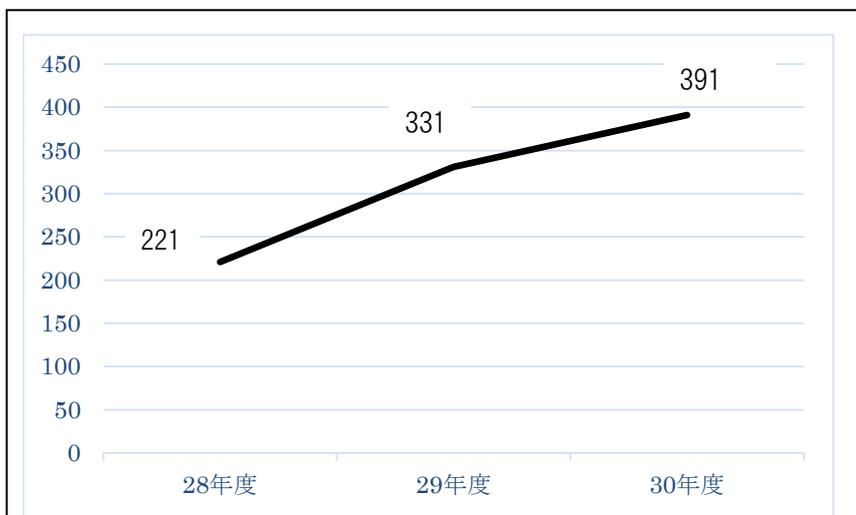
## ○利用状況データ

・年間貸出総数：4,221冊（生徒年間 1人 6.2冊・高校 4.1冊・中学 17.9冊）



## ○授業利用

- ・年間授業利用時数：391時間(個別対応は含まない)
- ・個別対応： 255時間（高3課題研究、留学生、進路先からの課題研究、自習、保健室がわりなど）



## ○リクエスト件数

44件 手当数 39件(88%)

○相互貸借（他館借受）冊数…1,441冊 回数 59回 昨年 1,441冊

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
島根県立図書館	55	207	132	288	276	155	77	125	121	70	24	1530
松江市立図書館	21	2		19	25	28	3	47	8		3	156
安来市立図書館	44	24	14		6	60		3	28	2		181
松江南高校	41		12							55		108
東出雲中学校	8	5	13			4				6		36
計	169	238	171	307	307	247	80	175	157	133	27	2011
回数	10	10	10	9	9	18	7	7	13	8	8	109

さて、私ごとですが

2016年に、初めての学校司書として開星中学校・高等学校に赴任してから、3年が経ちました。仲間に入れてくださった先生たちとともに『学校教育に寄与する』学校図書館になるように、一生懸命やってきました。そんな大好きな学校司書という仕事ですが、この3月でその職を引き、若い司書さんにバトンタッチします。

大好きな学校図書館、大好きな子どもたちと離れることは、とても辛いのですが、今度は開星の外から、精一杯のエールを送ります。

本当に大好きな学校司書を開星で終えることができたことを、感謝しています。

がんばれ～先生たち！ がんばれ～生徒たち！

実重和美

